

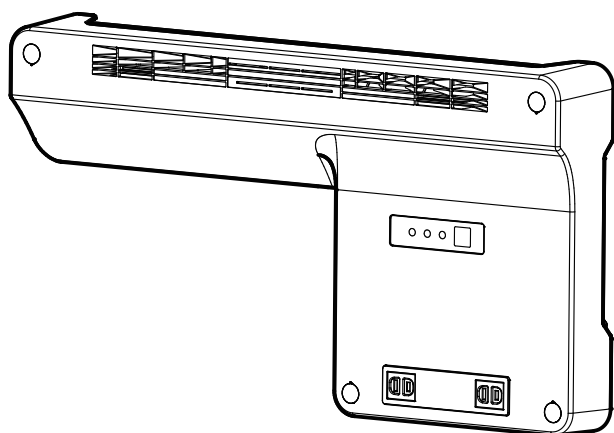
蒸気排出ユニット (家庭用)

取扱説明書

形名

KSB-C060SW

KSB-C060SN



もくじ

安全上のご注意	1
使用上のお願い	2
炊飯器・電気ポットなどの設置のしかた	2
各部のなまえ	3
ご使用方法	3
操作パネルの使いかた	3
使いかた (自動標準)	4
使いかた (自動長時間/手動)	5
お手入れ方法	6
故障かな?と思ったら	6
仕様	6
保証とアフターサービス	7
保証書	7

保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。

取付・設置日・販売店名などの記入をお確かめください。

- このたびは蒸気排出ユニットをお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
- 取付設置説明書を販売店または工事店から必ず受けとって保存してください。

安全上のご注意

■警告表示と注意表示について



警告

取扱いを誤った場合、人が死亡、または重傷*1を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

取扱いを誤った場合、人が傷害*2を負う可能性、および物的損害*3の発生が想定される内容を示します。

※1：重傷とは失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

●その他お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し説明しています。



製品の取り扱いにおいて、その行為の禁止を告げる図記号です。



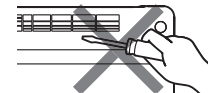
製品の取り扱いにおいて、その行為を強制する内容を告げる図記号です。

警告



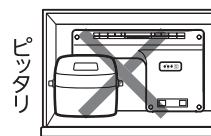
修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わない。

発火したり異常作動して、けがをすることがあります。



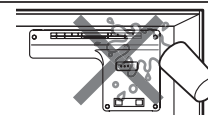
炊飯器や電気ポットなどのすべての家電品は、収納庫壁面や後ろに寄せて使用しない。

家電品の置き位置は、本製品の指示に従うか、家電品の取扱説明書に従ってください



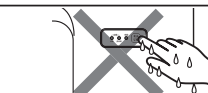
コンセントや操作パネル、送風口に水をかけたり、水につけたりしない。

ショート・感電の恐れがあります。



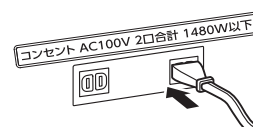
濡れた手では、制御パネルのスイッチを操作しない。

感電の恐れがあります。



電源部プラグにほこりが付着していないか定期的に確認し、根元まで確実に差し込む。ほこりが付着している場合はよくふいてください。

感電・火災の恐れがあります。



コンセントは指定電気容量（ワット）以下で使用する。

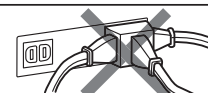
火災の恐れがあります。

コンセント AC100V 2口合計 1480W以下



たこ足配線をしない。

火災の恐れがあります。



火のついたローソク、蚊取り線香、タバコなどの火気や、揮発性の引火物を近づけない。

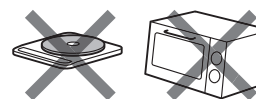
変形や火災の恐れがあります。



収納庫の中で、使用時に高温になるものは使用しない。

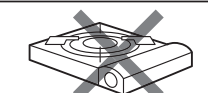
火災の恐れがあります。

電気コンロ（熱源の露出したもの）、オーブントースター、トースター、魚焼き機、ホットプレート、電子レンジ、オープンレンジ、卓上型電磁（IH）調理器 など。



ガス器具（炊飯器・コンロなど）、圧力鍋は使用しない。

火災の恐れがあります。



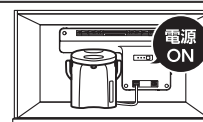
安全上のご注意(つづき)

⚠️ 注意



炊飯器や電気ポットなど湯気や蒸気が出る家電品は、蒸気排出ユニットがある収納部に置き、必ず電源スイッチを ON にする。

送風されないと収納部内が結露します。また、ユニットのショート感電の恐れがあります。



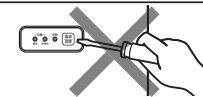
送風口にはスプーン・はしなどを入れたり、ふさいだりしない。

ケガをしたり、故障の原因になります。



操作部を人の手以外（鋭利なもの等）のもので操作しない。

操作スイッチのパネルが破損する場合があります



長時間ご使用にならない時は、分電盤のブレーカーを切る。

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になることがあります。



使用上のお願い



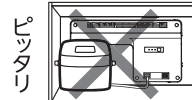
炊飯器や電気ポットなどの蒸気が出る家電品を使用するときは、必ず蒸気排出ユニットを「自動標準」または「自動長時間」にしてください。

送風口から風を出し、収納庫の内部の結露を防ぎます。



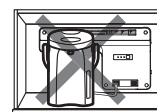
家電品は送風口がある範囲で中央寄りに置いて使用する。

収納庫壁面や後ろに寄せて使用すると、湿気や湯気がスムーズに排出されず、結露することがあります。奥行きについては、スライド引き出しの手前側に置いてください。



送風口まである高さの家電品を使用したり、または、送風口を塞ぐような置き方はしないでください。

送風が家電品に当たり、湿気や蒸気がスムーズに排出されず、結露することがあります。



炊飯器・電気ポットなどの設置のしかた

収納して使用できる家電品は下記になります。



収納して使用できない家電品は下記になります。

高温になるもの

電気コンロ、オーブントースター、トースター、魚焼き器、ホットプレート、電子レンジ、オープンレンジ、卓上型電磁 (IH) 調理器、圧力なべ など

ガス器具

ガス炊飯器、カセットコンロ など

家電品の設置位置

- 収納庫内の蒸気をスムーズに排出するため、収納庫の中央寄りに置いてください。但し、家電品どうしは接触させて置かないようにしてください。
- 奥行きについては、スライド引き出しの手前側に置いてください。
- 収納庫の壁面や蒸気排出ユニットに当たらないようにしてください。

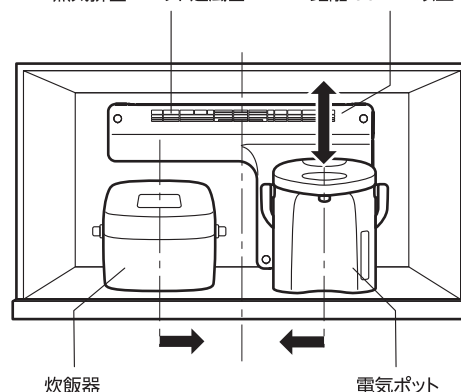
家電品の大きさの目安

- 家電品の容量の目安
炊飯器 → 0.5L (3合) ~ 1.8L (1升)
電気ポット → 2.0L ~ 3.0L
- 家電品の高さの目安
収納庫の天面までの距離 80mm 以上
にしてください。

お願い

部屋の温度が低い時や家電の種類、置かれる位置によって収納庫内に結露が多くなることがあります。このような場合は、布などで拭き取ってください。

蒸気排出ユニット送風口
収納庫天面までの距離 80mm 以上

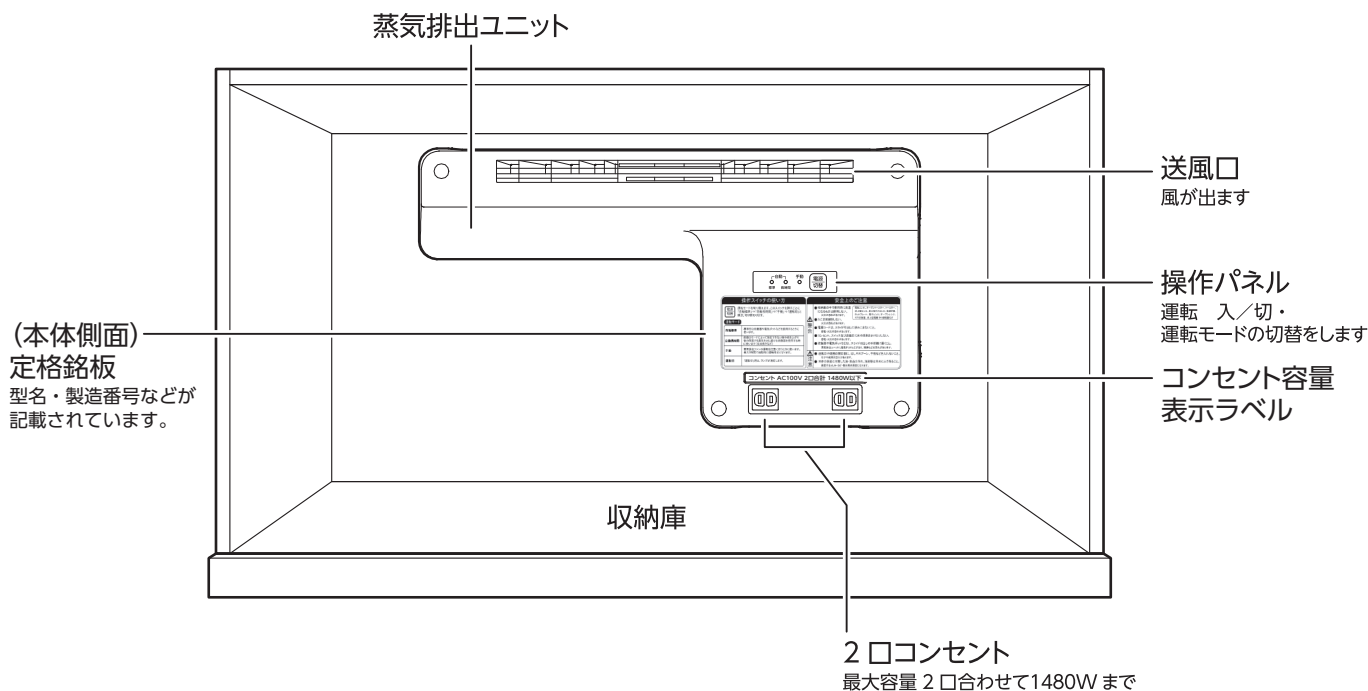


家電品の設置などの規制については、ご使用の家電の取扱説明書をご覧ください。その指示に従ってください。

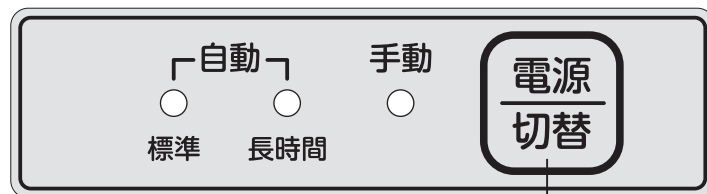
結露が残っている場合は、布などで拭き取ってください。

各部のなまえ

■下図は収納庫への設置例です。



操作パネル部の使いかた



運転モード表示ランプ

- 自動 標準 標準的な炊飯器や、電気ポットなどを使用するときに使います。
- 自動 長時間 炊飯のモードによって対応出来ない時や、炊きあがり後の保温でも蒸気を出し続ける炊飯器を使用するときに使います。(玄米炊きなど)
- 手 動 蒸気排出ファンの運転を任意に行うときに使います。
最大3時間で自動的に運転停止となります。

電源/切替スイッチ

運転モードを切り替えます。
押すごとに「自動標準」→「自動長時間」→
「手動」→「運転切」と順次切り替わります。
「運転切」時は、ランプが消灯します。

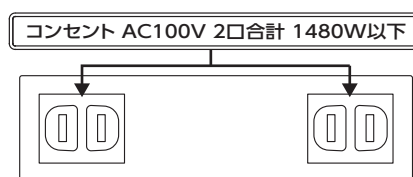
運転のしかた（使いかた）

⚠ 注意

- ❗ 炊飯や湯沸かしなどで、湿気や蒸気の出る場合は必ず蒸気排出ユニットの運転を行う。
蒸気がこもり、収納庫をいためる原因になります。
蒸気排出ユニットの故障の原因になります。
- 🚫 家電品のコードは長く引き出さない。
収納庫のスライド台やレールに挟み込み、コードを傷つけ火災の原因になります。
- ❗ 長時間使用しないときは、炊飯器・電気ポットなどの電源プラグを抜く。
火災の原因になります。

運転前の準備

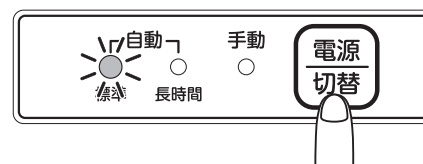
- 炊飯器や電気ポットを収納庫の中央寄りに設置します。
詳細は「炊飯器・電気ポットの設置のしかた」（P2）を参照してください。
- 炊飯器や電気ポットをそれぞれのコンセントに差し込みます。



運転

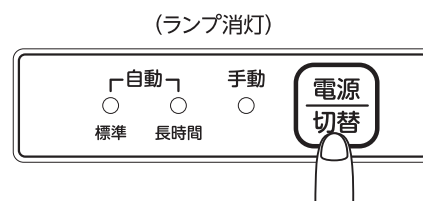
自動 標準モード

- ①「電源／切替」スイッチを押すと「自動 標準」のランプが点灯し「自動標準モード」になります。
②炊飯器や電気ポットをそれぞれのコンセントに差し込み運転させ、炊飯や湯沸かしを始めると、自動的に蒸気排出ユニットのファンが回り、送風口から風が出ます。
③「自動標準」モードでは、電気器具の通電（約2A以上の電流〈約200W以上の電力〉が30秒以上続いた状態）を検知し、自動的にファンが動作します。
※消費電力が約200W以下の家電品は、ファンが作動しません。



- 2 炊飯や湯沸かしが終わったのち（電流が約2A以下〈電力が約200W以下〉に落ちたときから）、約45分で蒸気排出ユニットのファンが自動的に止まります。
- 3 電気ポットなどを再沸騰したときは、蒸気排出ユニットの運転（ファン回転）が再開します。
①自動的にファンが回転し、送風口から風が出ます。
②再沸騰が終わり、約45分で自動的に止まります。

- 4 炊飯器・電気ポットなどを使用しない時は、蒸気排出ユニットの電源を切ります。「電源／切替」スイッチを押すごとにモードが切り替わりますので、ランプが消灯すると「運転切」となり、電源が切れます。（蒸気排出ユニットの電源は切れますが、コンセントは使用できます。）



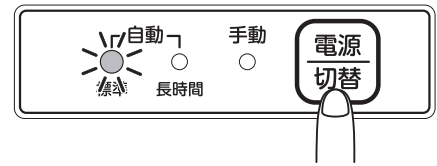
使いかた (つづき)

自動 長時間

- 炊飯器や電気ポットの種類によって「自動標準」で対応できないときや、炊き上がり後の保温状態でも、蒸気を出し続ける炊飯器を使用する場合には「自動長時間モード」を選択してください。

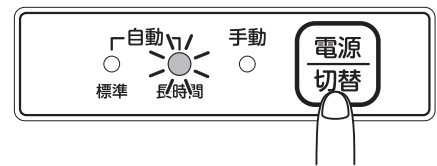
1 「電源／切替」スイッチを押します。

- ①「自動 標準」ランプが点灯します。



2 「電源／切替」スイッチを1回押します。

- ①「自動長時間」のランプに切り替わります。
②炊飯や湯沸かしを始めると運転を検知し、自動的に蒸気排出ユニットのファンが回り、送風口から風が出ます。
③「自動長時間」モードでは、電気器具の通電（約2A以上の電流〈約200W以上の電力〉が30秒以上続いた状態）を検知し、自動的にファンが動作します。

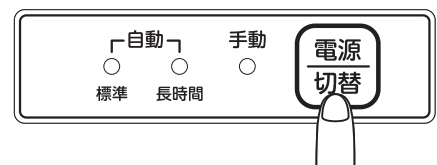


※消費電力が約200W以下の家電品は、ファンが動作しません。

3 炊飯や湯沸かしが終わったのち（電流が約2A以下の〈電力が約200W以下〉に落ちたときから）、約2時間で蒸気排出ユニットのファンが自動的に止まります。

4 炊飯器・電気ポットなどを使用しない時は、蒸気排出ユニットの電源を切ります。「電源／切替」スイッチを押すごとにモードが切り替わりますので、ランプが消灯すると「運転切」となり、電源が切れます。
※蒸気排出ユニットの電源は切れますが、コンセントは使用できます。

(ランプ消灯)

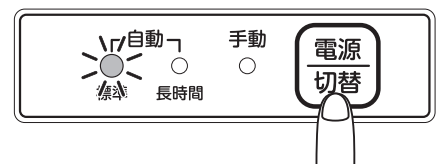


手動モード

- 蒸気排出ユニットのファン運転を任意に行いたいときに使用します。
- ファンは連続で運転します。

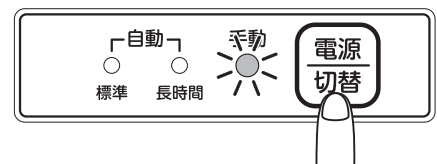
1 「電源／切替」スイッチを押します。

- ①「自動 標準」のランプが点灯します。



2 「電源／切替」スイッチを2回押します。

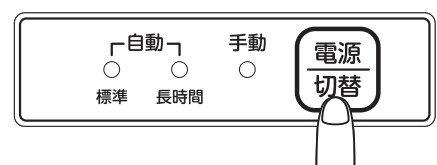
- ①「手動」のランプに切り替わります。
②ファンが回り、送風口から風が出ます。



3 運転を止めるときは、「電源／切替」スイッチを押します。

- ①ランプが消灯し、蒸気排出ユニットの運転が停止します。
②「電源／切替」スイッチを押さない場合でも、安全のため約3時間で運転が自動で停止します（ランプが消灯します）。

(ランプ消灯)



お手入れ方法

⚠️ 注意



- お手入れの前に必ず蒸気排出ユニットを「運転切」にしてから行う。
運転中の場合は「電源／切替」スイッチを押してランプを消灯させ停止状態にする。
ケガの恐れがあります。

🙏 お願い



- 汚れは家庭用台所中性洗剤を薄めて、それを含ませたやわらかい布でふきとり、次に乾いたやわらかい布で洗剤が残らないように拭き取ってください。
- 有機溶剤・酸アルカリ性の洗剤・住宅用洗剤・化学ぞうきんなどは使用しないでください。
〈有機溶剤〉シンナー・ガソリン・アルコール・アセトンなど
〈酸・アルカリ性の洗剤〉トイレ、タイル用洗剤、サビ、カビ取り剤など
- たわしや磨き粉は傷をつけますので使用しないでください。



- 操作パネルの汚れは、やわらかい布で拭き取ってください。
- 送風口にホコリがつかましたら、やわらかい布や綿棒などで拭いてください。
※送風口に突起物を入れないよう十分注意してください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点を一度お調べください。

症状	点検内容
器具の電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●炊飯器・電気ポットなどの電源プラグをコンセントに差し込みましたか。 ●屋内分電盤のブレーカーが「入」になっていますか。
収納庫内に蒸気が付着し乾かない	<ul style="list-style-type: none"> ●炊飯器・電気ポットなどは、正しい位置に配置されていますか。(→P2 参照) ●使用時の環境条件や電気器具の機種、その運転モードによっては、一時的に収納庫内に蒸気が付着することがあります。運転モードを変更するか「手動」モードでご使用ください。気になるときは布などでふきとってください。
蒸気が発生してもファンが運転しない	<ul style="list-style-type: none"> ●炊飯器・電気ポットなどの電源プラグを、蒸気排出ユニット以外のコンセントに差し込んでいませんか。 ●使用する家電品の消費電力が200W を越えていますか。 ●およそ60秒以内の遅れは、異常ではありません。 ●自動モードでは、家電品の電流値を検知してファンが作動します。蒸気検知ではありません。
炊飯器・電気ポットの保温中にファンが動作する	<ul style="list-style-type: none"> ●炊飯器・電気ポットの機種によっては、保温中で約2A 以上の電流が流れた場合、その電流を検知しファンが動作することがありますが、異常ではありません。 ●ファン動作が不要な場合は、電源を切ってください。
屋内分電盤のブレーカーが働く	<ul style="list-style-type: none"> ●蒸気排出ユニットのコンセントにたこ足配線をしていませんか。 ●蒸気排出ユニットのコンセントに容量表示ラベル (P.3 参照) の表示容量以上の電力を使用していませんか。

仕様

型名	KSB-C060SW	KSB-C060SN	製品重量	2.1kg
色調	ホワイト	チャコールグレー	電源接続方式	1 回路端子台直結方式
外形寸法 (mm)	幅 552× 高 308× 奥行 82		運転モード	自動標準 (タイマー約45分)
電源・消費電力	100V (50/60Hz 共用)・6.5/6W			自動長時間 (タイマー約2時間)
安全装置 (基板内)	電流ヒューズ 3A			手動 (タイマー約3時間)

保証とアフターサービス

修理・お取扱い、お手入れについてご不明な点の連絡先

お買い上げの販売店へご相談ください。販売店にご相談できない場合は、下記窓口へご連絡ください。

お客様ご相談センター ☎0120-610-087 受付時間：9:00～17:00 FAX：03-6862-9107（24時間受付）通信料有料
ご依頼の際は、右記の内容をお知らせください。 ●製品の商品名、型名、製造番号 ●症状 ●設置日 ●お名前、住所、電話番号

補修用性能部品の最低保有期間

- 蒸気排出ユニットの補修用性能部品の、製造打ち切り後5年間保有しております。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書

形名		KSB-C060SW/KSB-C060SN		
★お客様	お名前	TEL ()		
	ご住所	〒		
★販売店	住所 店名	TEL ()		
保証期間	取付設置日から1年間	★取付・設置日	年	月 日

本書は、取扱説明書、本体貼付ケラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで保証期間内に故障した場合に、本書記載内容にて無料修理を行うことをお約束するものです。

保証期間中に故障が発生したときには、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼ください。

修理の際には必ず本書をご提示ください。

★印欄に記入がない場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。

本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

- 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - (イ) 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障および損傷。
 - (ロ) お引き渡し後の取付・設置場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障および損傷。
 - (ニ) 指定以外の電圧・周波数の使用による故障および損傷。
 - (ホ) 一般家庭用以外（業務用や車両・船舶への設置）に使用された場合の故障および損傷。
 - (ヘ) 傷などの外観の不具合で、お引き渡し時に申し出がなかった場合。
 - (ト) 経年劣化など使用に伴う摩耗、さび、カビ、変質、変色、音、振動そのほか類似の事由による場合。
 - (チ) 適切な使用、維持管理がなされなかったことに起因する故障及び損傷。
 - (リ) 取付・設置説明書に記載された方法以外の取付・設置、または工事内容に起因する故障及び損傷。
 - (ヌ) 保証期間経過後に申し出があった、もしくは保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかった場合。
 - (ル) 本書のご提示がない場合。
 - (ヲ) 本書に取付・設置日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書き換えられた場合。
- 離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
- 出張のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理のご依頼が出来ない場合には、以下の窓口にご相談ください。

「お客様ご相談センター ☎0120-610-087」

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとで無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行して
る者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権限を制限するものではありません。

※保証書にご記入いただきましたお客様の住所・氏名などの個人情報、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のた
めに利用させていただく場合がございますのでご了承ください。